

南大阪景気動向調査プロジェクトの概要

1. プロジェクトの概略

- ・ 本学総合研究所の地域連携共同研究プロジェクト（02連154、05連181、08連199）
- ・ 本学経済学部（庄谷¹、河合²、荒木）と、南大阪地域地場産業振興センター（じばしん）³との共同調査研究
- ・ 2004年度からスタート、現在（2010年4月時点）も継続中
- ・ 毎四半期に一度、南大阪の1000社を対象に（職業別電話帳より無作為抽出）、景気・業績等に関するアンケート調査を実施
- ・ 集計分析結果をインターネット Web サイトに公開（<http://rio.andrew.ac.jp/osaka/>）
- ・ 調査内容
 - (1) 定型的な（日銀短観調査などと同様の）質問項目（売上、利潤、雇用、在庫など）
 - (2) 自由記述（自治体の施策に対する意見や、業界動向に関する情報など）
 - (3) 特別調査（非正規雇用の比重、金融危機の影響など）※ 2009年度より拡充予定
- ・ 「手弁当」による準備作業
 - (1) 南大阪企業データベースの構築（2003年度構築、2008年度更新）
 - (2) 3ヶ月ごとに、1000通の封筒詰め→発送→回収の作業⁴
 - (3) Web 回答システムの作成など

2. プロジェクトの目的・意義

- ・ 無作為抽出による地域独自指標の作成（傘下の優良企業を対象にした類似調査等は他にもあるが、完全無作為抽出による地域調査はわれわれ独自のもの）
- ・ 自治体施策への反映（とくに、自由記述欄にあらわれる施策への要望・不満など）
- ・ 独自のデータ収集にもとづく研究の可能性（全国調査との詳細な比較により南大阪経済の特長を析出できる可能性など）

3. 今後の方向

- ・ 時節に応じた特別調査の拡充（非正規雇用の動向や金融危機の影響など）
 - ・ 自由記述部分の拡充（あわせて、テキストマイニング研究の可能性も探る）
- 詳細については、「景況調査の実践、およびその意義」（桃山学院大学総合研究所紀要31巻3号、2006年3月）を参照ください。

¹ 現在は、本学名誉教授。

² 現在は、名古屋市立大学教授。

³ 現在は、財団法人 堺市産業振興センター。

⁴ 現在は、アルバイトとして、本学大学院生（留学生、後期博士課程）や、本学出身の他大学大学院生（神戸大学後期課程、名古屋市立大学後期課程、兵庫県立大学後期課程）の協力も得ている。